

日刊建設工業新聞（2023年12月5日付 9面掲載）

【オリコンサルグローバル MRT ジャカルタのTOD関係者らと会談】



MRTジャカルタの TOD関係者らと会談 オリコンサルグローバル

オリエンタルコンサルタンツグローバルの米澤栄二社長らは11月17日、東京都新宿区の本社で、インドネシアのジャカルタ州都市高速鉄道（MRT）の運営会社MRTジャカルタの公共交通指向型開発（TOD）関係者らと会談した。写真（オリコンサルグローバル提供）。会談では米澤社長が「日本の交通統合とTODの実践から得た教訓」と題して日本のTOD事例と実施メカニズムを説明。インドネシア側の出席者と意見を交わした。

会談にはMRTジャカルタのTOD関係者6人、同国主要メディアのジャーナリスト7人が出席した。今回の訪日に伴い、日本のT

OD事例である横浜市のみなどみらいや虎ノ門ヒルズ駅（東京都港区）、バスタ新宿（同新宿区）、高輪ゲートウェイ駅（同港区）、多摩ガーデンシティ（同多摩市）などを見学。最終日にオリエンタルコンサルタンツグローバルと会談した。

同社は10月1日付で「新規事業推進部」の下部組織として「TOD推進室」を設立している。TOD推進の一環として、MRTジャカルタとの連携に取り組む。

MRTジャカルタは州知事令によりMRT沿線のTODのマスターデベロップメントに指定されている。オリエンタルコンサルタンツグローバルとは2022年にジャカルタのTODで事業創出戦略提携に関する覚書を締結している。